



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月6日

上場会社名 株式会社中山製鋼所
 コード番号 5408 URL <http://www.nakayama-steel.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 箱守 一昭

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 阪口 光昭

TEL 06-6555-3035

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	36,817	1.8	1,202	9.3	1,266	6.1	970	19.9
2019年3月期第1四半期	37,494	5.2	1,325	24.5	1,349	25.4	1,211	13.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 880百万円 (21.4%) 2019年3月期第1四半期 1,120百万円 (27.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	17.92	
2019年3月期第1四半期	22.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	124,238	80,527	64.8	1,487.46
2019年3月期	124,605	79,863	64.1	1,475.20

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 80,527百万円 2019年3月期 79,863百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		4.00		4.00	8.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		4.00		4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	74,000	0.1	2,800	10.0	2,700	5.8	1,800	0.4	33.25
通期	148,000	3.7	6,200	8.1	6,000	15.6	4,200	21.2	77.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	63,079,256 株	2019年3月期	63,079,256 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	8,941,811 株	2019年3月期	8,941,732 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	54,137,493 株	2019年3月期1Q	54,140,049 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用環境や所得環境が改善する中、内需や個人消費は堅調に推移しました。当社グループを取り巻く環境は、国内鋼材需給の緩和により在庫の過剰感が鮮明になる中、荷動きは低迷しており、諸資材価格の高騰や人手不足などによる生産・物流コストの上昇など厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、本年5月8日に公表しました「新中期経営計画」(2019年度～2021年度)の方針に沿って、当社グループの協働施策やコスト削減に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高368億17百万円(前年同期比6億76百万円減)、営業利益12億2百万円(前年同期比1億22百万円の減益)、経常利益12億66百万円(前年同期比82百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益9億70百万円(前年同期比2億41百万円の減益)となりました。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

鉄鋼につきましては、鋼材販売価格は前年同期に比べ上昇しましたが、鋼材販売数量が大幅に減少したことなどにより、売上高は減収となりました。収益面では、鋼材販売価格が前年同期比で上昇した一方で主原料であるスクラップ価格が下落したため鋼材スプレッドは改善しましたが、電極・耐火物などの資材価格の上昇や電力・ガスなどのエネルギーコストや物流コストの増加などにより、前年同期比で減益となりました。これらの結果、売上高は363億36百万円(前年同期比7億58百万円減)、経常利益は12億円(前年同期比1億14百万円の減益)となりました。

エンジニアリングにつきましては、海洋部門において魚礁の受注増により増収となりましたが、鑄機部門の原料コストの上昇などで減益となり、売上高は2億66百万円(前年同期比21百万円増)、経常損益は41百万円の損失(前年同期比7百万円の減益)となりました。

不動産につきましては、昨年11月より開始した当社船町工場内の倉庫賃貸収入が増加したことなどにより、売上高は2億14百万円(前年同期比59百万円増)、経常利益は1億48百万円(前年同期比32百万円の増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,242億38百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億66百万円減少しました。これは主として、たな卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)が増加しましたが、受取手形及び売掛金、並びに現金及び預金が減少したことによるものであります。

負債については、437億11百万円となり、前連結会計年度末と比べ10億30百万円減少しました。これは主として、未払金が増加しましたが、支払手形及び買掛金、賞与引当金、並びに長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産については、805億27百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億63百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、わが国経済は引き続き底堅く推移することが期待される一方で、米中貿易摩擦の通商問題の動向など、先行き不透明な状況となっております。当社グループを取り巻く環境につきましても、国内需給の改善には時間を要する懸念もあります。

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、鋼材販売数量が期初の想定には届かず、売上高は期初予想を下回る見込みですが、スクラップなどの主原料価格が期初の想定を下回る見通しのため、利益は期初予想通りを見込んでおります。一方、通期業績予想につきましては、下期の不確定要素が大きく、事業環境を現時点で見通すことは困難であります。足許の動向を踏まえ、上期と同様に売上高のみを修正しております。

以上の状況を踏まえ、2020年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期（累計）は、売上高740億円、営業利益28億円、経常利益27億円、親会社株主に帰属する四半期純利益18億円を、通期は、売上高1,480億円、営業利益62億円、経常利益60億円、親会社株主に帰属する当期純利益42億円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,227	17,853
受取手形及び売掛金	28,958	27,928
電子記録債権	3,643	3,879
商品及び製品	11,067	12,506
仕掛品	2,740	2,760
原材料及び貯蔵品	10,736	10,452
その他	2,560	2,252
貸倒引当金	△90	△106
流動資産合計	77,844	77,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,335	6,483
機械及び装置（純額）	9,402	9,547
土地	24,185	24,179
その他（純額）	1,306	1,085
有形固定資産合計	41,229	41,296
無形固定資産	224	216
投資その他の資産		
投資有価証券	2,363	2,266
差入保証金	1,864	1,865
その他	1,137	1,127
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	5,306	5,200
固定資産合計	46,760	46,714
資産合計	124,605	124,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,555	18,836
電子記録債務	723	710
短期借入金	3,071	3,071
1年内償還予定の社債	42	42
未払金	2,386	2,747
未払費用	1,659	1,784
未払法人税等	330	168
賞与引当金	797	402
解体撤去引当金	658	652
災害損失引当金	382	319
その他	1,076	1,109
流動負債合計	30,683	29,844
固定負債		
社債	153	153
長期借入金	5,514	5,246
繰延税金負債	2,128	2,225
再評価に係る繰延税金負債	1,113	1,113
環境対策引当金	524	585
解体撤去引当金	404	404
関係会社事業損失引当金	165	171
退職給付に係る負債	2,469	2,458
負ののれん	374	327
その他	1,210	1,180
固定負債合計	14,058	13,866
負債合計	44,741	43,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,044	20,044
資本剰余金	7,826	7,826
利益剰余金	48,897	49,655
自己株式	△775	△775
株主資本合計	75,992	76,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	925	834
土地再評価差額金	3,125	3,120
退職給付に係る調整累計額	△180	△179
その他の包括利益累計額合計	3,870	3,775
純資産合計	79,863	80,527
負債純資産合計	124,605	124,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	37,494	36,817
売上原価	33,195	32,445
売上総利益	4,298	4,372
販売費及び一般管理費		
販売費	1,494	1,604
一般管理費	1,479	1,564
販売費及び一般管理費合計	2,973	3,169
営業利益	1,325	1,202
営業外収益		
受取利息	11	9
受取配当金	54	50
負ののれん償却額	46	46
持分法による投資利益	8	30
その他	22	26
営業外収益合計	143	164
営業外費用		
支払利息	43	34
賃借料	37	37
その他	37	27
営業外費用合計	119	99
経常利益	1,349	1,266
特別利益		
スクラップ売却益	-	90
災害による保険金収入	-	42
固定資産売却益	4	3
特別利益合計	4	136
特別損失		
環境対策費	-	61
固定資産除却損	21	18
その他	42	10
特別損失合計	64	90
税金等調整前四半期純利益	1,288	1,312
法人税、住民税及び事業税	163	211
法人税等調整額	△86	130
法人税等合計	77	342
四半期純利益	1,211	970
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,211	970

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	1,211	970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	△91
退職給付に係る調整額	7	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△91	△90
四半期包括利益	1,120	880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,120	880
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	鉄鋼 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	37,094	244	154	37,494	—	37,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	6	72	113	△113	—
計	37,129	251	227	37,608	△113	37,494
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は経常損失(△))	1,314	△33	116	1,397	△47	1,349

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益又は損失	金 額 (百万円)
報告セグメント計	1,397
セグメント間取引消去	△6
全社営業外損益(注)	△41
四半期連結損益計算書の経常利益	1,349

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	鉄鋼 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	36,336	266	214	36,817	—	36,817
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	5	71	125	△125	—
計	36,384	271	286	36,942	△125	36,817
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は経常損失(△))	1,200	△41	148	1,308	△41	1,266

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益又は損失	金 額 (百万円)
報告セグメント計	1,308
セグメント間取引消去	△10
全社営業外損益(注)	△30
四半期連結損益計算書の経常利益	1,266

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。